



あらかわ一義
 市政だより
 もくせいかわいね



■ GIGA (ギガ) スクール構想について!

GIGA・誰一人取り残すことなく、子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育情報通信技術 (ICT) 環境の実現を目指します。

▼全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出す事で、課題や困難を克服していく(Society(ソサエティ)5.0) 時代を生きる子どもたちにとって、教育における ICT を基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められる一方で、現在の学校 ICT 環境の整備は遅れており、自治体間の格差も大きいことが指摘されています。▼令和時代の標準的な学校像として、全国一律の ICT 環境整備が急務となっています。

▼このため、1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備すると共に、並行してインターネット等のネットワーク経由で利用する方々にサービスを提供(クラウド)活用推進、ICT 機器の整備調達体制の構築、利活用優良事例の普及、利活用の PDCA サイクルの徹底等を進めることで、多様な子供達を誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを保証できる環境を、早急に実現することが求められています。

▼この事から、七尾市教育委員会より七尾市における GIGA スクール構想に伴う、これまでの経過とこれからの取り組みが、七尾市議会教育民生常任委員会に示された。(2020.07.06)

国が示す学校のICT環境整備 (全体の流れ)	▽平成 29 年 12 月 26 日 文部科学省策定	✓教育の ICT 化に向けた環境整備 5 ヶ年計画 →ICT 環境整備の目標とする水準を設定
	▽令和元年 6 月 21 日 閣議決定	✓経済財政運営と改革の基本方針 2019 →パソコン 1 人 1 台環境の整備に言及
	▽令和元年 12 月 5 日 閣議決定	✓安心と成長の未来を拓く総合経済対策 →GIGA スクール構想 (令和 2 年度中の高速大容量ネットワーク整備 + 令和 5 年度までの 1 人 1 台パソコン整備)
	▽令和 2 年 4 月 7 日 閣議決定	✓ 新型コロナウイルス感染症救急経済対策 → GIGA スクール構想の加速化 (令和 5 年度までとしていた 1 人 1 台パソコン整備を令和 2 年度中の整備に前倒し、加えて、校内ネットワーク整備、家庭でも繋がる通信環境の整備)



これまでの七尾市の学校 ICT 環境整備 (平成 29 年度～令和元年度)

基本方針	▼今後のパソコン教室の端末については、従来の据置型パソコンではなく、パソコン教室から持出せて活用する事が出来る可動式パソコン(タブレット型)で整備を進める。 ▼学習支援ソフトウェア及び電子黒板を導入し、子どもたちの興味関心を高めると共に、学習内容をより理解できる授業の実現を目指す。 ▼各教室においても、日常的にタブレット型パソコンを使用し、情報を効果的に活用する協働学習などを実施することで、これからの社会で活躍できる力を育む。									
整備実績	平成 29 年度	5 小学校(小丸山、山王、東湊、和倉、中島)	タブレット 216 台	電子黒板 10 台						
	平成 30 年度	5 小学校(天神山、朝日、石崎、田鶴浜、能登島)	タブレット 214 台	電子黒板 10 台						
	令和元年度	4 中学校(七尾、七尾東部、能登香島、中島)	タブレット 182 台	電子黒板 10 台						
	3 年合計		タブレット 612 台	電子黒板 30 台						
整備内容	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">タブレット型パソコン</td> <td>「SurfacePro (Microsoft 社製) 児童生徒用・1 クラス分 教師用・パソコン教室用 1 台、各学年用 1 台(七尾、東部中は各学年 2 台)</td> </tr> <tr> <td>ソフトウェア</td> <td>教育支援ソフトウェア「ミライシード」、「SKYMENU (SKY 社製)」 ワープロ、表計算ソフト「MS Office Standard (Microsoft 社製)」</td> </tr> <tr> <td>電子黒板</td> <td>75 型電子黒板 各校 2 台(七尾、東部中学校は各 3 台)</td> </tr> </table>				タブレット型パソコン	「SurfacePro (Microsoft 社製) 児童生徒用・1 クラス分 教師用・パソコン教室用 1 台、各学年用 1 台(七尾、東部中は各学年 2 台)	ソフトウェア	教育支援ソフトウェア「ミライシード」、「SKYMENU (SKY 社製)」 ワープロ、表計算ソフト「MS Office Standard (Microsoft 社製)」	電子黒板	75 型電子黒板 各校 2 台(七尾、東部中学校は各 3 台)
タブレット型パソコン	「SurfacePro (Microsoft 社製) 児童生徒用・1 クラス分 教師用・パソコン教室用 1 台、各学年用 1 台(七尾、東部中は各学年 2 台)									
ソフトウェア	教育支援ソフトウェア「ミライシード」、「SKYMENU (SKY 社製)」 ワープロ、表計算ソフト「MS Office Standard (Microsoft 社製)」									
電子黒板	75 型電子黒板 各校 2 台(七尾、東部中学校は各 3 台)									

令和 2 年 4 月 7 日、政府の閣議で、新型コロナウイルス感染症救急経済対策として GIGA スクール構想の加速化が決定し、令和 5 年度までとしていた 1 人 1 台パソコン整備を令和 2 年度中の整備に前倒し、加えて、校内ネットワーク整備、家庭でも繋がる通信環境の一体整備を加速する事で、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時に於いても、ICT の活用により全ての子どもたちの学びを保証できる環境を早急に実現。



GIGA スクール構想の加速による学びの保障 (令和 2 年度補正予算額 2, 292 億円)

<p>■児童生徒の端末整備支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「1 人 1 台端末」の早期実現 <ul style="list-style-type: none"> ✓令和 5 年度に達成するとされている端末整備の前倒しを支援 → 令和 2 年度末 ✓令和元年度補正措置済(小 5、6、中 1)に加え、残りの中 2、3、小 1~4 すべてを措置 補助割合・定額(上限 4.5 万円) ○障害のある児童生徒の入出力支援装置の整備 <ul style="list-style-type: none"> ✓視覚や聴覚、身体等に障害のある児童生徒が、端末の仕様にあたって必要となる障害に対応した、入出力支援装置の整備を支援 補助割合・定額 <p>■学校ネットワーク環境の全校整備</p> <p>整備が可能となる未光地域や Wi-Fi 整備を希望し、令和元年度補正に計上していなかった学校ネットワーク環境の整備を支援</p> <p>補助割合・1/2</p>	<p>■緊急時における家庭でのオンライン学習環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習のための通信機器整備支援 Wi-Fi 環境が整っていない家庭に対する貸与等を目的として自治体が行う、LTE 通信環境(モバイルルータ)の整備を支援 補助割合・定額(上限 1 万円) ○学校からの遠隔学習機能の強化 臨時休業等の緊急時に学校と児童生徒がやりとりを円滑に行うため、学校側が使用するカメラやマイク等の通信装置等の整備を支援 補助割合・定額(上限 3.5 万円) ○「学びの保障」オンライン学習システムの導入 学校や家庭に於いて端末を用いて学習・アセスメントが可能なプラットフォームの導入に向けた調査研究 <p>■GIGA スクールサポーターの配置</p> <p>急速な学校 ICT 化を進める自治体等を支援するため、ICT 関係企業 OB などの ICT 技術者の配置経費を支援 補助割合・1/2</p>
---	--

■七尾市における GIGA スクール構想に対応した整備端末数

児童生徒、教員数(令和2年5月1日現在)

児童数	..	2,171 人
生徒数	..	1,266 人
教員数	..	235 人(授業を担当する教員数)
計		3,672 人

端末種別	必要数	保有台数	整備予定数 (不足台数)
児童生徒用	3,437 台	520 台	2,917 台
教員用	235 台	92 台	143 台
計	3,672 台	612 台	3,060 台



七尾市議会 教育民生常任委員会

GIGA スクール構想の加速化への対応

■令和2年度補正予算(緊急時における家庭でのオンライン学習環境の整備)への対応

小学校のいる家庭のうち、約6割の世帯が無制限に通信できる環境を整えており、残りの4割約1000世帯は、通信料に制限があったり、インターネットに接続できる環境にないという状況である。

一方、国の補助事業では、就学援助費受給世帯約200世帯だけが対象であり、肝心の通信費はすべて市の負担となる。

すべての児童生徒に等しく公平にインターネットを使った家庭での学習環境を提供するため、民間事業者のみならず、七尾市ケーブルテレビ網の活用など、検討を重ねていきたい。

家庭のインターネット環境	割合
家庭でパソコンやタブレット等でインターネットを利用できる	約62%
インターネットを利用できるが、使用料に制限がある	約7%
保護者のスマートフォンでインターネットを利用できる	約17%
インターネットを利用できない	約2%
未回答	約12%

家庭のインターネット環境アンケート 令和2年6月実施

